

＜業務改善＞今月の最優秀賞はこちら！

整理・整頓は一度で終わりじゃない 🤖



Before

入荷された商品や、商品が入っていた箱は、これまで決めた定位置で保管していました。

しかし、実際に使いながら何度も整理・整頓を繰り返していくうちに、「この箱は本当に必要なのかな？」「この商品は別の場所で保管できるのでは？」といった新たな気づきが出てきました。一度の改善で終わらせるのではなく、繰り返し見直していくことで、今まで気づかなかった不要なものや、より効率よく保管できる方法が見えてくることがあります。

今回の改善を通して、「改善は一度で完成するものではなく、繰り返すことでより良い形になっていく」ということを実感しました。

これからも日々の業務の中で「もっと良くできないかな？」という視点を大切にしながら、少しずつ改善を重ねていきたいと思います ✨

改善提案者

吉岡さん、佐藤さん、手塚さん

おめでとうございます！

＜催事のお礼＞

ご来場いただきありがとうございました！

10月3日・4日に開催しました、南魚沼市の「龍言」にて展示会を開催いたしました ✨

趣のある建物と、どこか懐かしさを感じる落ち着いた空間。一步足を踏み入ると、日常とは少し離れた、ゆったりとした時間が流れているような会場でした 🍁 そんな龍言の雰囲気の中で、商品をじっくりご覧いただき、和やかなひとときを過ごしていただけたのではないのでしょうか 🎁 ✨

私たち社員にとっても、普段とは違う趣のある場所で皆さまとお会いでき、とても楽しい催事となりました 😊

これからも、素敵な場所で皆さまに楽しんでいただける催事を企画してまいります。今回の催事に足を運んでくださった皆さま、本当にありがとうございました！ 🍁

＜催事のご案内＞

新潟伸裳苑inメディアシップ

2027年1月30日(土)～31日(日)、新潟市にありますメディアシップにて新潟伸裳苑を開催いたします！！

企画などの詳細は次回以降の猪井通信にて発信いたしますので、情報解禁までお楽しみに ✨

※詳細は各担当営業にお問い合わせください。



11月猪井通信

新潟県長岡市柏町2-6-7
0258-32-4927
株式会社猪井

＜猪井はてな？＞

江戸小紋に見られる“ムラ”の理由

江戸小紋は、約12mの生地を板場に張り、細かな柄の型紙を50回～80回ほど繰り返し置きながら、手作業で染め上げていきます。



非常に細かな柄を、型紙の継ぎ目やへらのムラが出ないように染めるには、高い技術と経験が必要で、熟練した職人が作業をしても、染め上がりにわずかな型継ぎや色ムラが残ることがあるそうです。染め上がった後に補正を行いますが、すべてを完全になくすことは難しく、手仕事ならではの特征のひとつでもあるんです💡

均一に仕上げることだけが「きれい」なのではなく、手仕事ならではの風合いや表情も、江戸小紋の魅力として楽しんでいるだけだと思います😊

※あくまで猪井の観点ですので、他社様と認識が違う場合がございます。

2026年度猪井 催事スケジュール

- ・1月30日～31日 新潟仲裳苑
- ・3月上旬 雪晒しツアー
- ・3月中旬 決算市

※スケジュールは変更になる可能性がございます。

＜間違えたらこっそり復習？＞

着物屋さんの知識テスト

第1問

下記の説明文に当てはまる白生地は次の内どれでしょうか。
「緯糸に強い撚りをかけた生糸を用い、生地にしぼと呼ばれる凹凸がある」

- A. 綸子(りんず)
- B. 縮緬(ちりめん)
- C. 紹(ろ)

第2問

フォーマルでない織り帯を、次の中から選びなさい。

- A. 錦織(にしきおり)
- B. 博多織(はかたおり)
- C. 綴織(つづれおり)
- D. 唐織(からおり)

第3問

緑系の色は次の内どれでしょうか。

- A. 萌黄(もえぎ)
- B. 縹(はなだ)
- C. 一斤染(いっこんぞめ)
- D. 杜若(かきつばた)

答え

